

平成14年度における重点領域優先順位の考え方

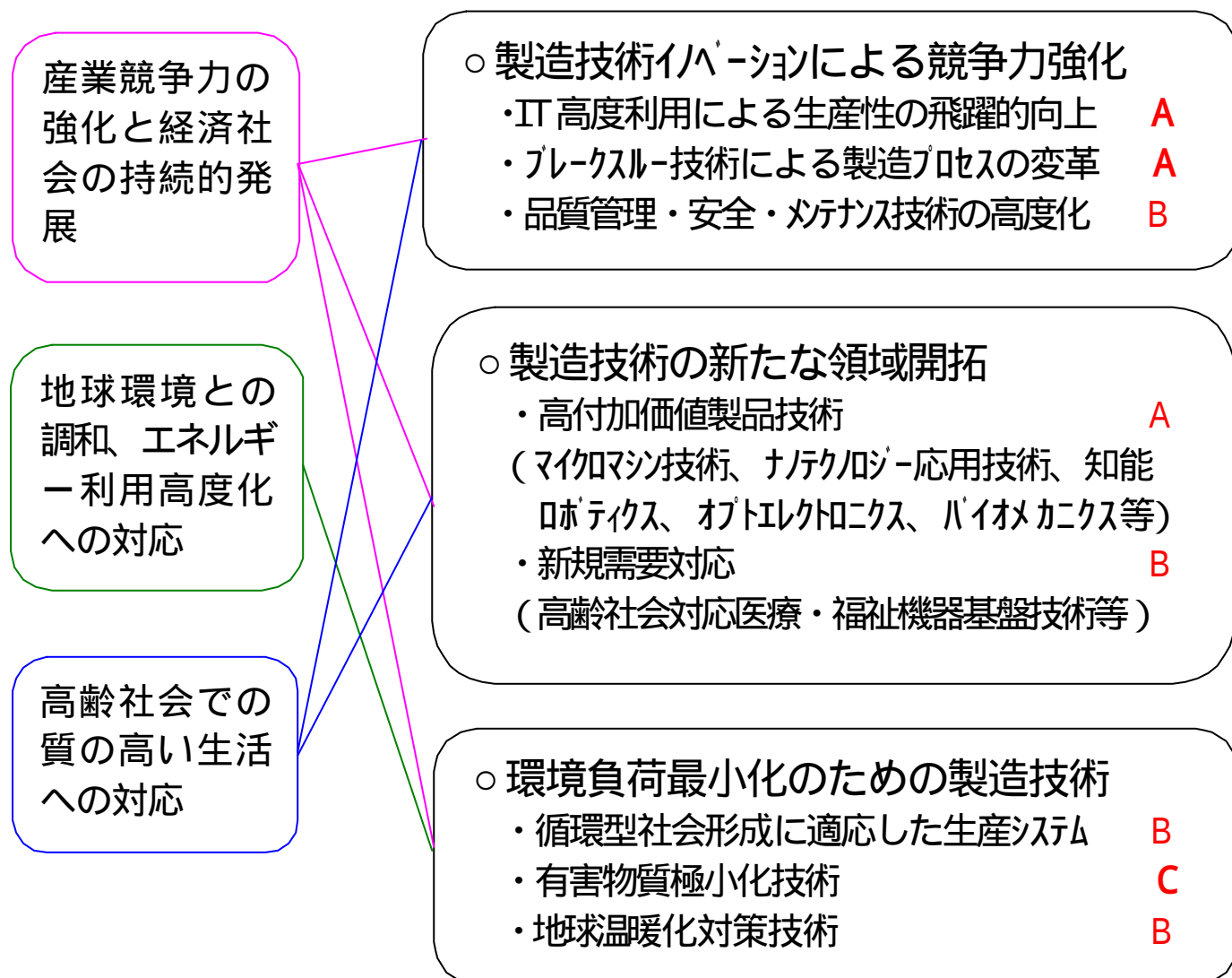
- 1) 「第151回国会における小泉内閣総理大臣所信表明演説」(13年5月7日)
 - 最重要課題として、「経済の立て直し」
 - 「IT革命の推進」、「環境の制約を克服する科学技術を開発・普及」、「循環型社会の実現」について言及。
- 2) 第8回 経済財政諮問会議(13年5月31日)

「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」

 - 経済の活性化
 - 循環型社会の実現
 - 高齢社会での質の高い生活
 - 都市基盤の整備

国家的・社会的要請

重点領域



1. 「第151回国会における小泉内閣総理大臣所信表明演説」(13年5月7日)

1) 新世紀維新を目指して

・最重要課題として、「経済の立て直し」

2) 日本経済の再生を目指して

3) 経済・財政の構造改革 ―構造改革なくして景気回復なし―

・「IT革命の推進」

4) 行政の構造改革 - 民間にできることは民間に、地方にできることは地方に―

5) 社会の構造改革 - 生きがいを持って、安心して暮らすことができる社会―

・「環境の制約を克服する科学技術を、開発・普及」

・「循環型社会の実現」

6) 二十一世紀の外交・安全保障

7) むすび

2. 第8回経済財政諮問会議「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」(13年5月31日)

<基本的な考え方>

1. 新世紀維新が目指すもの

2. 日本経済の再生シナリオ：構造改革なくして景気回復なし

3. 構造改革のための7つの改革プログラム

(1) 民営化・規制改革プログラム

(2) チャレンジャー支援プログラム

(3) 保険制度改革プログラム

(4) 人材大国プログラム

(5) 生活維新プログラム

(6) 地方自立 活性化プログラム

(7) 硬直性の是正プログラム

4. 政策プロセスの改革

5. 中長期の経済財政運営と平成14年度予算編成

<本論>

第1章 構造改革と経済の活性化

1. 構造改革と真の景気回復

2. 不良債権問題の抜本的解決

3. 経済の再生

・ 社会的二重ス（循環型社会／環境 高齢化 都市）と新しいテクノロジー（IT、バイオ、ナノ等）の出会い

・ 人的資本の形成（教育改革）、科学技術立国（知的資産増倍）など

4. 財政構造改革

第2章 新世紀型の社会資本整備

1. 新世紀型の社会資本整備に向けて
2. 硬直性の打破
3. 事業主体としての国と地方
4. 重点的に推進すべき分野
 - ・循環型経済社会の構築など環境問題への対応
 - ・科学技術の振興 など
5. 効率性 / 透明性の追求
6. 経済・財政との整合性

第3章 社会保障制度改革 (略)

第4章 個性ある地方の競争 - 自立した国・地方関係の確立— (略)

第5章 経済財政の中期見通しと政策プロセスの改革 (略)

第6章 平成14年度予算の基本的考え方

1. 景気の現状と経済の先行き
2. 平成14年度予算
 - ・ 国債発行30兆円以下
 - ・ 重点化 (循環型社会 / 環境、高齢化、地方活性化、都市再生、科学技術、人的資本形成 / 教育) など